



F • K • C

THE

FURANO KOTOBUKI COLLEGE

TIMES

富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上 用 眞一郎

今日は七夕、織姫と彦星との再会の日！

今日、8月7日は七夕です。こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブ、それぞれの星座の1等星（ベガは0等星）が夏の大三角形をつくります。

夏の夜空を眺めると天の川がきれいに見えます。はくちょう座が分かり易く、羽を伸ばした白鳥で十字形に見えます。ちょっと目を薄めるとベガとアルタイルとデネブの3つの星が明るく輝いて見えます。そして、天の川、私たちが住んでいるこの銀河系宇宙が円盤状になっていることが分かります。夏の夜はこの夏の大三角形と天の川に圧倒されます。



七夕ですが、本州は7月7日、北海道では8月7日だと一般的に思っていました。明治時代に新暦が導入され、その選択については全国で分かれました。

北海道では農作物の作業が忙しく8月にしたということですので。仙台の七夕など本州などでも8月に実施されているところがあります。

昔は、「ろうそく出せ！出せよ！出さぬと…」と近所を提灯を持って回りました。何故ろうそく！？それは、青森からの移住者たちの影響だそうです。「青森ねぶた」では山車にろうそくが欠かせないので子どもたちが地域を回ってろうそくを集めたことが始まりだそうです。そのうち、ろうそくがお菓子に代わりました…各家庭では柳の木に願いごとをたくさん書いた短冊を吊るし、飾り付けもしました…まるで夏のクリスマスのようなものでした…

世界の美術館巡りをしてきました！！

さて、先週は、小樽へ研修旅行に行ってきました。とても良い天気で「小樽芸術村」を堪能してきました。



2020年に運営開始された小樽芸術村には3つの美術館と1つの博物館旧三井銀行小樽支店があり、ルネサンス様式の建築です。古代ギリシャやローマ時代の古典文化の再生と言えるものです。



西洋美術館にある彫像です。「スザンナの水浴」 P.Grassとありましたが…古代ギリシャ時代の彫刻でしょうか？



もしかして、これはルイ王朝時代のソファかもしれません??！警備の方が「どうぞお座りください」と…座り心地が最高！体全体が奥深く沈んでいくような感覚でした…

市内には、かつて 25 もの銀行があり、その銀行跡がしっかり保存され、利用されているようです。銀行跡巡りも楽しいかも知れません。

受付が西洋美術館、旧浪華倉庫を利用した大きな木造と石造りの美術館で、ステンドグラスからアール・ヌーボーやアール・デコの彫刻やガラスや家具や装飾品、ギリシャ・ローマ時代の美術などたくさん…この西洋美術館でお腹が一杯になってしまいました。

見学時間に 3 時間とりましたが、後半はステンドグラス美術館の 2 階で休憩、焼きたてのアップルパイとコーヒーをいただきましたフウ！！

ステンドグラスの作り方もありました。「切り絵の要領でやれば何とかなる!？」



デザインさえ決まれば、切絵クラブでもできそう!？そのための下絵も買ってきたようです……

そして、最後は、何があっても「かま栄」工場直売店でお土産を買って、18 時過ぎに富良野に帰ってきました。令和 6 年度の研修旅行は「世界の美術めぐり」の旅でした。

美しいものを観たり、聴いたりすることは、人を前向きにさせるそうです。ストレス解消、感情が豊かに、加えて創造性も豊かになるということです。それに、自己表現が豊かになるようです。自己表現とは、自分自身を理解し、コミュニケーション力を高める手段ということですから、これからのクラブ学習や同好会活動など、学校生活の向上に繋がる研修旅行となりました。皆さん、来年はどこに行きましょうか…

本日、8月7日(水)

午前：俳句講座(3)・午後：学年別・課題別研究

今日は俳句講座 3 回目です。先週の土曜日の朝刊に、金子さんと宮西さんの俳句が道新に掲載されました。

金子さんの一句「網戸張り風の通り心地よく」が「網窓に心地よき風通り抜け」に、宮西さんの一句「のき下の石打つ音や夏の雨」が「夏雨の化粧石打つ音楽し」に変わっていましたが、とても切れがいい!と感じます。確かに一つのものに興味を持ち続ける

ことは、とても難しいことかも知れません。だからこそ、時々自分に刺激を与えることが大事です。それが今日の俳句講座です。他の人の俳句を読んでみる。違った環境で作品を作る、読むことによって、また新しい視点や表現方法に触れることができます。

清少納言の枕草子…「夏は夜が良い、月が出るとなお良いと、ホタルはいませんが、夏の夜空はとても良いものです 雨などもいい…」平安時代のことなのですが、清少納言や紫式部とも良いものは共有できるものです。平安時代の貴族たちのことを思いながら外に出てみましょう！！きっと何か一句作りたくなります。

さあ、今日は、新しい自分を再発見するための俳句講座にしましょう！！

次回の予定

8月21日(水)クラブ学習、コーラス・踊り、学年(課題)別研究

お盆明けは、クラブ学習、コーラス・踊り、学年(課題)別研究の時間をとります。学習日以外で学年で集まる日があれば、事務局に連絡してください。調整します。

図書館はとても暑いので、活動場所も別途検討したいと思います。



3市町 芸能発表交流会

令和6年度の芸能発表交流会は、私たちことぶき大学が当番校で準備を進めていきます。

例年と異なることは、新文化会館大ホール「サンエーホール」で開催されること、そして今年度は占冠村と南富良野町の高齢者大学の皆さんが見学に来ます。

すでに、各町村には案内を送付しました。

令和元年度に旧文化会館で開催しましたので5年振りとなります。

両校の自治会役員の方々を中心に運営し、皆さんの協力を得ながら「おもてなし」の芸能交流会となるよう計画していきますのでよろしくお願いします。

3市町芸能発表交流会に合わせて、各クラブ学習の作品展も同時開催する予定です。その作品をそのまま市総合文化祭にも展示する予定です。

これからのクラブ学習は、8月21日、9月18日、10月2日、そして、10月15日(火)は前日準備です。

限られた日数になりますので、各クラブで相談しあいながら進めてください。

なお、学年(課題)別研究と同様ですが、クラブ学習以外に活動が必要であれば、事務局に気軽に相談してください。

これからの
クラブと同好会

8月28日（水）

今年の年間計画の中で、5月22日（水）は古典文学を計画していました。内容は、「古典芸能の魅力として狂言師三代 野村万作・萬斎・祐基〜パリ公演での『三番叟』」を予定していましたが、急遽、4月21日に亡くなられたフジ子・ヘミングの追悼コンサートを実施しました。

そこで、8月28日（水）は、上記の『三番叟』を鑑賞したいと思います。

「野村万作・萬斎・祐基×杉本博司『ディヴァイン・ダンス三番叟』〜ジャポニスム イン パリ」です。

この写真、左から野村万作、萬斎、祐基の親子三代、野村万作は、1931年6月22日生まれ今年94歳、野村萬斎、1966年58歳、野村祐基 1999年生まれ24歳！お楽しみに！ 「サンエーホール」で〜す！



ティー・タイムコーナー



小樽の研修旅行でのティータイムは、ステンドグラス美術館の2階のカフェ「小樽芸術村ミュージアムカフェ」でした。アップルパイに私は砂糖時計付コーヒー、菊田さんは本格的アイスティー



芳賀さんは、ソフトクリームです。アップルパイにソフトクリームをたっぷり乗せて！まさしく絶品なのですが、パイの焼き上がりが遅くて、ソフトクリームは待ってくれませんでした。すごく残念！…この次もあるでしょ…今さん、高田さん、高見さん、伊賀さんも一緒に休憩しました。

また、小樽芸術村に行く途中に市立小樽文学館がありました。この掲示板には市立小樽美術館の名もありましたので併設されているのでしょう。この文学館は1978年（昭和53年）11月3日に設立され、日本国内では初めて開館した市町村立の文学館ということです。小樽と言えば小林多喜二。「蟹工船」は復刻版で読みました。

そして、三浦綾子著「母」は今でも印象に残っています。この著書は、勿論小林多喜二の母、小林セキです。



反戦を訴える多喜二ですが、警察に逮捕され、壮絶な死をとげます。今度は、市立小樽文学館！に行ってみたいです。今後、文学講座でも取り上げたいと思います。

小樽の研修は、本当にお腹が一杯になりました。